

# 淡路支部ニュース

2018. 1. 25  
No. 338

兵庫県保険医協会淡路支部  
〒656-1313 洲本市五色町  
鮎原西9-2 たかたクリニック内  
☎0799-3012272

新年のごあいさつ

## 社会保障取り巻く変化に対応し医療再建を

兵庫県保険医協会淡路支部 支部長 高田 裕



2018年の新春にあたり、  
会員の皆様に謹んで新年のお  
慶びを申し上げます。

昨年は支部活動として、1  
月『医療機関で知っておきた  
い医療・福祉の役立つ制度』、

2月『在宅医療点数研究会』、  
4月バスツアー『春の姫路城  
散策と綿菓子牛鍋、かまぼこ  
作り体験』、5月『接遇研修  
会』、支部総会では『医療が  
変わる最新』、7月『抗生  
剤の適正使用』、9月歯科部  
会主催『社保・審査、指導対  
策懇談会』、11月『創傷処  
置の勉強会』、12月忘年会  
を兼ねての『会員懇談会・経  
費計上の疑問点』、『医療安  
全管理研修会・季節性感染症

への対応』などが行われまし  
た。

支部幹事会は毎月第2火曜  
日に定例化し、日常診療で出  
会った症例報告や工夫、在宅  
医療などミニ勉強会を実施し、  
幹事以外の会員も自由に参加  
できるようにしました。

ストップ患者負担署名に目  
標1200筆として取り組み、  
7割を超える達成率で皆様の  
協力をいただきました。

今年の前定として、「プラ  
イマリケア医に伝えたい救急  
外来紹介のポイント」、在宅  
医療について連携を深められ  
るような研究会、昨年好評だっ  
たバスツアーなどを計画して  
います。

今年、医療、介護の診療・  
介護報酬の同時改定の年にあ  
ります。介護保険の利用者

負担の増大、地域包括ケアシ  
ステム導入による医療から介  
護へのシフトがすすめられる  
ことが予想されます。また医  
科、歯科、薬科のみならず介  
護でのかかりつけ機能の評価  
が検討されています。

今後も、様変わりするであ  
ろう急激な保健医療福祉の環  
境変化に対応できるよう、会  
員の皆様方に最新の情報をお  
伝えし、医療再建をめざして  
様々な活動を展開していきたく  
思います。

淡路支部は、様々な組織・  
個人と協力しあい、ともに地  
域医療・保健活動における信  
頼・絆の核となり、くらしと  
医療・福祉を支え続ける確かな  
存在でありたいと考えます。

本年も何卒よろしくお願ひ  
申し上げます。



講師の田中雄司税理士(右から3人目)を囲んで和やかに交流を深めた

会員懇談会・支部忘年会「経費計上の疑問点」

## 経費計上の理解深める

淡路支部では、12月14日、洲本市のきた八で支部忘年会を兼ねた会員懇談会「経費計上の疑問点」を開催、5人が参加した。

講師を協会の税務講師団として医療機関の経営をサポートしている税理士の田中雄司先生が務めた。

田中先生は、必要経費について、専従者給与、交際費、減価償却といった項目別にそれぞれ基本的な考え方を解説した。

経費として認められる額の適正な範囲については、専従者給与については、他人に同様の業務をさせた場合にもその額を支払うかといった基準があることを紹介した交際費については、業務との直接関連性が問題になるとして、認められる範囲は一般にイメージされている額よりも少ないことを指摘した。

参加者は食事をとりながら自院での事例を紹介したり、法人での税務の取り扱いなど、ざっくばらんに疑問点を出し合い、日常診療での多岐にわたって交流を深めた。

**【新点数研究会(医科・入院外)のご案内】**

**日時 3月24日(土) 15時～**

**会場 淡路市立しづかホール**

※他会場等詳細につきましては、今後協会新聞・ホームページ(

<http://www.hhk.jp/>)にてご案内予定です。